

議題(2)イ 令和5年度の状況について

1 現年度分調定・収納状況

1人当たり保険税調定額は上昇しているものの、被保険者数の減少により、調定額は8,370万円余、収納額は8,221万円余減となっています。収納率は12月末時点で67.41%、前年同月比で0.99ポイント下落しています。

いずれも12月末時点

	調定額	被保険者数	1人当たり	収納額	収納率
R4	2,602,817,500円	26,410人	98,554円	1,780,356,570円	68.40%
R5	2,519,117,100円	25,052人	100,556円	1,698,145,236円	67.41%
前年比	△83,700,400円	△1,358人	2,002円	△82,211,334円	△0.99%

未納者への収納対策は、収税課と連携し行っており、保険医療課における取組といたしましては、口座振替登録の勧奨や未納期が一定以上ある世帯への納付勧奨、納税相談の案内などを行い、7月23日と1月21日に休日納税相談を実施しました。

2 特定健診の状況

特定検診は、例年どおり6月1日から2月14日までの期間で実施しています。令和5年度の特定検診の受診率は、全体で24.2%と、前年度から0.8ポイント下がり、微減しました。

特定健診の実施状況（市内54医療機関にて実施）

	請求件数 (12月末まで)	6/1当初 受診券発行数	受診率
R4	5,269件	21,108件	25.0%
R5	4,759件	19,655件	24.2%
前年比	△510件	△1,453件	△0.8%

特定健診の受診勧奨は、8月8日に未受診者11,000人に、11月21日も未受診者8,000人に対して、タイプ別に全5種類の異なる文面のはがきで勧奨しました。